

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

1992 (秋・冬号)



•vol.8

いよいよせまる!!

「慶應志木会」第2回総会



日時：平成4年11月29日(日)

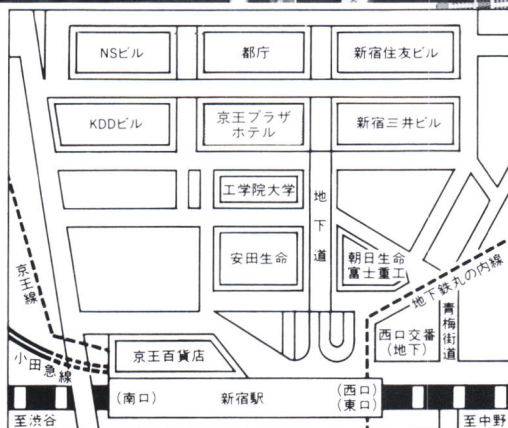
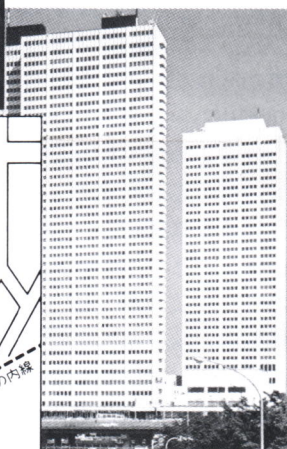
12:00集合

受付開始11時30分

場所：京王プラザホテル

コンコード・ボールルーム

(←創立総会の石川塾長)



「慶應志木会」第2回総会開催にあたってのお願い



慶應志木会 会長

櫻井 英太郎

慶應志木会会員の皆様にはお元気にご活躍のことと存じます。日頃は慶應志木会の運営にあたりまして、ご配慮やご協力また貴重なご意見をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、慶應志木会は昭和63年に発足しましたが、早いもので今年5年目を迎え、第2回目の総会並びに懇親パーティーを来る11月29日(日)京王プラザホテルにて開催することになりました。

昭和63年に開催された設立総会では1,500名の同窓生にご出席いただき、会場では恩師や懐かしい友の輪があちらこちらにでき、それはあたかも青春時代にタイムトラベルしたかのような熱気に包まれ、大いに盛り上がった同窓会でありました。

この設立総会を機に慶應志木会も一段とその団結を深め、お蔭様をもちまして会の運営も順調に軌道に乗り今日に至っております。今般第2回の総会並びに懇親パーティーの開催にあたりましては、その後1,000名以上増えた会員相互の親睦を図るとともに、より学校との絆を深め、学校創立50周年に向けて会員の皆様の結束をさらに強くしたいと念願しております。実行委員各位のご尽力により、今回の親睦パーティーでは楽しい催しも多数企画しておりますので、どうぞ皆様お誘い合わせのうえ一人でも多くご出席下さいますよう、切にお願い申し上げます。既に欠席のご返事をいただいた方でもご都合がございましたら、ご出席の程重ねてお願いいたします。

最後に会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げ、お願いかたがたご挨拶とさせていただきます。

「慶應志木会」第2回総会開催に際して



慶應義塾志木高等学校長

慶應志木会 名誉会長

鐵野 善資

「慶應志木会」が第2回総会を開催する運びとなり、その同窓会名簿も現状を反映するものに改められています。平成3年度までの卒業生総数が8,966名ですから、平成4年度には9千人以上の卒業生を数えることになります。まことにご同慶の至りです。

会員諸氏が現在各界でそれぞれの立場において活躍しておられるのは実に心強い限りですが、さらにこの機会に万障お繰り合せの上、総会に出席されて同窓生相互の親睦をはかっていただきたいものと思います。私もこれまでに多くの方々にお会いする機会を得てきましたが、そのネットワークは想像以上に幅広く奥行の深いものだと思います。

私は、平成2年10月に校長に就任し、この9月末日を以て最初の任期2年を満了しましたが、さらに2年間、校長として留まることになりました。今後とも、塾長を初め、諸学校担当理事、財務理事、志木高教職員、その他の方々のご理解ご協力を得て、高校としての存在を堂々と世に示し、一層の充実・発展を遂げるために積極的に取り組んで行きたいと考えています。

本校も平成10年(1998年)には50周年を迎えますが、私の任期第2期目の2年間はその準備期の初期として重要な時期に当たることを思わずにはいられません。微力ながら、私なりに志木高等学校の一層の充実発展のために精一杯努力する所存です。記念事業として、多目的棟建設(現在の音楽教室棟のある部分、図書館の建設及び管理棟に隣接する地域に4階建て、可能ならば、地下にもう1階の5階建て)などが考えられています。「生徒にとってよかれ」というのがすべてにおける私の判断・行動基準であります。先輩諸氏におかれても、「後輩にとってよかれ」というお気持ちで、今後ともご協力ご支援のほど心からお願い申し上げます。

〔総会のご案内〕

—和やかさの中で盛り上がりましょう!!—

総会では慶應志木会の第2回定期総会と懇親会とを併せて行います。司会はテレビ朝日の吉澤一彦アナウンサー（23期）にお願いしました。

先ず定期総会はいくつかの期の代表の方々による塾旗入場にはじまり、塾歌斉唱に続いて櫻井英太郎会長の挨拶の後、議長を選任して議事に入ります。

主要な議題には役員の改選がありまた第1期の事業報告と第2期の事業予定について説明があります。

次いで懇親会には石川塾長はじめ塾の関係者の方々、そして鐵野校長や志木高校の恩師の方々等多数のご来賓をお招きしております。

懇親会では、ご来賓からご挨拶をいただきます。服部連合三田会長のご発声による乾杯の後にはライトミュージックの演奏をバックに恩師、旧友との懐古談に和やかなひと時をお過ごしください。

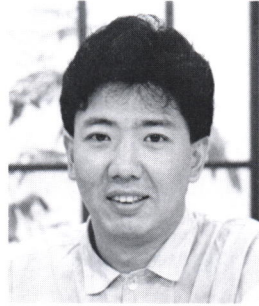
そしてアトラクションとして今回は豪華景品の当る福引を企画いたしました。自動車をはじめとする何本かの抽選では会場が大いに盛り上がるものと思われます。皆様には積極的な抽選券のご購入をお願いいたします。

また、会場では志木会のオリジナルグッズはじめ何種類かの記念品の販売が行われ、各期ごとの記念写真の撮影やポラロイドガールによる写真撮影と即売が実施されますので是非ご利用ください。

最後は応援指導部やそのOBの方々による応援歌の合唱がありチアリーダーが花を添えてくれます。

※オリジナルネームプレート及びネクタイを既にお持ちの方は、当日つけてご出席いただけるようお願い申し上げます。

〈司会者紹介〉



吉澤一彦（23期）

昭和30.2.17 北海道砂川市生
 " 48.3 慶應義塾志木高卒
 " 52.3 慶應義塾大学
 法学部法律学科卒
 " 52.4 テレビ朝日入社
 " アナウンス部配属

入社後は、プロ野球を中心にスポーツ実況を担当、この間、バレーボール、バスケットボール他冬季オリンピック（レイクプラシッド）も経験。

一方、平行してニュース、スタジオ番組を担当し、昭和62年より、現在の「やじうまワイド」を司会している。なお、この前身の「おはようテレビ朝日」は昭和56年より、継続している。

現在37才、既婚、子供（長女3才）あり。



（創立総会より）

お楽しみ福引抽選会

◆1シート3,000円 (1,000円×3枚)
全部で1,300シートしか作りませんので売り切れの場合はご了承下さい。

◆各期幹事より販売しておりますので、早目にご購入下さい。

尚、当日会場内でも若干販売致します。

◆賞品

K賞・ホンダシティ「フィット」(120万円相当)

- ・国内団体旅行 (1グループ20名)
- ・大相撲升席
- ・海外旅行など

E賞 1～2万円相当の賞品

I賞 福袋 多数

O賞 記念ボールペン (1シートに1本)



記念オリジナルグッズの販売

慶應志木会第2回総会開催を記念した志木会の企画によるオリジナルグッズを以下にご紹介します。

会員の皆様方にはこの機会にぜひご購入いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



(1) ネクタイ

素 材 シルク混紡

柄 前回に同じ

(2色の縞柄の、濃色の部分に地色と同色でペンのマークと「Shiki」の織り柄入り。また裏地に同じくペンのマークと「Shiki」の刺しゅう入り。)

- 色
- ①紺／赤 (前回に同じ)
 - ②黒／黄 (今回の新色)
 - ③紺／ライトブルー (同上)

価 格 1本 3,500円

ただし上記3色をセットでご購入の場合に限り1セット10,000円で販売。

〔2〕半袖ポロシャツ

素 材 綿100%の鹿の子織りの生地を使用。

色 白のみ

サイズ Iサイズ (S～M相当)

IIサイズ (M～L相当)

IIIサイズ (L～LL相当)

左胸にKの文字と志木高の創立年をあしらった3色のマーク入り。

価 格 1枚 5,000円



〔3〕半袖Tシャツ

素 材 綿100%の天竺編みの生地を使用。

色 白のみ

サイズ M、L

背中にポロシャツと同様のマークをプリント。

価 格 1枚 2,500円

※総会当日に会場にて販売いたしますが、数量に限りがございますので、お買い上げはお早めをお願いいたします。



また上記物品販売に関するお問い合わせは
〒134 東京都江戸川区西葛西5-6-9
杉 猛(第4期) Tel03-3877-2440

総会には、皆様お誘い合せのうえご参加下さいますようお願い致します。

なお、出欠のご返事がまだの方は、早急にお願いします。



(創立総会より)

FROM SHIKI ●志木だより

志木演説会

去る7月16日、志木市民会館ホールにおいて、今井宏明さんを講師として第62回の志木演説会が開催されました。今井さんは1979年3月に本校を卒業、塾大学工学部に進み大学院を経て日本酸素株式会社に就職、現在、同社の電子機材事業本部技術開発部において研究開発に従事されています。『或るOBの心象スケッチ』と題して約1時間にわたって生徒たちの心を捉えるユニークな話を展開されました。今井さんと、今井さんに「使われた」という元テニス部長の本井さんに寄稿をお願いしました。お二人の随想を通して、当日の講演会に参加していただくことが出来ると思います。

研修・見学旅行

9月下旬から10月初めにかけて、各学年の研修・見学旅行が実施されました。

〔1年〕9月22日から24日まで、元箱根の箱根高原ホテルを宿舎として、生物、地学の研究とオリエンテーリングが実施されました。大涌谷自然科学館、噴気口近辺の探勝遊歩道、椿ライン露頭、長尾峠露頭、白銀林道など、レポートに苦労した記憶の蘇るOB諸氏も多いことと思います。

〔2年〕9月30日から10月2日まで、万葉集、奥の細道、泉鏡花、室生犀星などについて学ぶ国語の研修を中心とした旅行が行われました。第1日は永平寺、三国町郷土資料館、東尋坊を経て芦原温泉泊。第2日は金沢市内の見学コースと、金沢市内および高岡の万葉歴史館見学コースに分かれ、和倉温泉泊。最終日は黒部から宇奈月を経て長岡に至るコース。東京駅をひかり205号で出発し、あさひ584号

で上野駅に帰着するという回遊旅行でした。

〔3年〕9月28日から10月2日までの4泊5日の旅程でした。岡山後楽園、瀬戸大橋を経て倉敷泊の第1日。2日目は大原美術館、中津福沢旧宅、耶馬溪を経て瀬の本温泉泊。第3日は阿蘇山草千里、柳川（川下り、白秋生家）を経て嬉野温泉泊。4日目は長崎市内見学で市内泊。最終日はハウステンボス見学の後、飛行機と列車の2班に別れ帰途に着くというコースでした。

コンピューター教室

コンピューター教室が新設されました。設置された場所は図書館に接続する位置で、窓からは柿畑を浸食するかたちで伸びてきた竹林が目に入って風情を添えるという素晴らしい教室になっています。授業のほか、休み時間や放課後などには生徒が自由に利用できる施設です。同時に図書館の閲覧スペースも拡張されビデオなどのAV資料も利用できるようになりました。

(松崎先生記)



『舞台の袖で』

本井 英

志木市民会館のステージの袖で、私は今井さんの講演を聴いていました。天井のライトが彼の横顔を照しています。場内にぎっしり座っている生徒達はここからは余りよく見渡せません。しかし、生徒達が意外(?)に熱心に聴いているらしいことは場内の「雰囲気」で伝わってきます。所謂「ジワ」という程でもありませんが、それに近い緊張感は確かにあります。

本日の講師、今井宏明さんは本校を昭和54年3月に卒業。工学部へ進学。修士課程を経て、日本酸素株式会社へ就職された方。私と彼との出会いは、私が硬式テニス部部長、彼は部員というものでした。付き合いの舞台は専らテニスコートでした。テニス部3年になった彼は主務、所謂マネージャーに就任。敏腕を振るいチームを盛り立てていきました。部長の私も彼に「使われている」という実状で、私としてはまことに御気楽なものでした。何でもマネージャーがやってくれる、私はファンと言って判を押すだけ。そういえば彼の結婚式でそんな紹介をされました。数年前の、今井さんの結婚披露宴というのがこれまたユニークなもので、まあ今日の話し方を聴いていけば驚くには及ばないのですが、途中から新郎新婦が司会者に早変わり、祝辞を述べる我々来賓をまず解説してしまう、というものでした。その時の彼の言葉、「本井先生は私に大人のズルさを教えてくれた先生です」というのにはガッカリしました。部の仕事は全部マネージャーに任せて、自分は楽しくテニスばかりしている部長は確かに一寸ズルかったかもしれません。

その名マネージャーが卒業して折角工学部へ進学したのに、たまに遊びに来た時の彼の話はテニスのことばかり。どうも勉強している様子がないので心配はしていたのですが、今日の講演を聴いていると案の定、大学3年生になるまで学問の大切さに気がつかなかっ

た、とのこと。

その彼が自分から学問に取り組む喜びを知ったのは、彼の指導教授、前塾長久野先生のお蔭とか。出来るだけ学生の自主的好奇心、興味に任せるという指導方針。そうした学問環境の中で学生達は基礎的な学問の大切さを痛感し、自分から進んで勉強を始めるというのです。「学問の目的・効用が見えれば学問自体が楽しくなる」との今日の彼の発言は、我々教員に或るヒントを与えてくれたような気がしました。

ステージの袖で講演を聴いていて痛感したのは、「常識」というもののつまらなさ。更にはズルさ、でした。彼の勤務先の、何人かの「常識」を越えた人々の話には、生徒達も私も引き込まれていました。酸素の抽出過程に於ける超低温を利用した「冷凍食品」の製造の話。液体空気の保冷システムをそのまま縮小して「壊れないステンレス魔法瓶」を開発した話。少年の夢を持ったまま大人になってしまった研究者達の、「常識」を大きく外れた発想。その「非常識」が全く新しい製品開発につながって行く事例を具体的に示されると、我々の心までが躍り出すような興奮を覚えたのでした。

60回を越える「志木演説会」。これからは、だんだんに卒業生の皆さんの話を伺える機会が多くなるのでしょうか。教師としてこんな楽しいことは有りません。只一つ難点を言えば「会場」。せめて校内に、生徒全員と教職員の落ち着いて講演を聴ける場所が欲しいものです。私が今回「舞台の袖」に居たのは座る場所が無かったから。他の先生方も席が無く、階段に座ってらした方もありました。何とかしたいものです。

大館清次

林の終りに村山病院が続く。戦争末期、戦災に遭われ、大塚から疎開され、そのまま志木に定着された病院である。96才まで診察室に立たれた先代村山三十五郎院長から、現院長昭信先生に引継がれたが、今日まで本校の歴史と共に永く校医として、多くの教職員や生徒がご厄介になっている。

電車がホームに滑り込む手前右側に三角形の
とんがり屋根の本校本館が望まれた。(丁度今の
あさひ銀行志木支店のあたりである。)ここに
ある1955年(昭和30年)の収穫祭プログラムに描
かれているスケッチは本館玄関車寄せ付近が、

毛糸・化粧品・雜貨 今西商店 志摩 志摩本 志摩二 志摩四 志摩五 志摩六 志摩七 志摩八 志摩九 志摩十 志摩十一 志摩十二 志摩十三 志摩十四 志摩十五 志摩十六 志摩十七 志摩十八 志摩十九 志摩二十	内外飼料・藥物雜貨 山口商店 志摩 志摩本 志摩二 志摩四 志摩五 志摩六 志摩七 志摩八 志摩九 志摩十 志摩十一 志摩十二 志摩十三 志摩十四 志摩十五 志摩十六 志摩十七 志摩十八 志摩十九 志摩二十	校內食堂 志摩 志摩本 志摩二 志摩四 志摩五 志摩六 志摩七 志摩八 志摩九 志摩十 志摩十一 志摩十二 志摩十三 志摩十四 志摩十五 志摩十六 志摩十七 志摩十八 志摩十九 志摩二十	著作 志摩本 仲治
產婦・内科 入院處 村山病院 志摩 志摩本 志摩二 志摩四 志摩五 志摩六 志摩七 志摩八 志摩九 志摩十 志摩十一 志摩十二 志摩十三 志摩十四 志摩十五 志摩十六 志摩十七 志摩十八 志摩十九 志摩二十	相田齒科醫院 志摩 志摩本 志摩二 志摩四 志摩五 志摩六 志摩七 志摩八 志摩九 志摩十 志摩十一 志摩十二 志摩十三 志摩十四 志摩十五 志摩十六 志摩十七 志摩十八 志摩十九 志摩二十	朝日屋 原藥局 志摩 志摩本 志摩二 志摩四 志摩五 志摩六 志摩七 志摩八 志摩九 志摩十 志摩十一 志摩十二 志摩十三 志摩十四 志摩十五 志摩十六 志摩十七 志摩十八 志摩十九 志摩二十	タヌキ 化粧品・遊樂・ワイユル

皆様の話題の**センター!**

~~~~~

テーエムの  
洗練されたデザインが飾る  
上品なスタイル…  
秀れた技術が産み出す  
手がない仕立…

校内出張

**テーエム洋服店**  
本店 TFL (45) 1232・8537  
支店 TFL H 市 2 2 4 3

---

雑誌・書籍・事務用品

— 慶応義高校教科書取扱店 —

**宮 川 書 店**

足立町志本 2,471 番地  
電 話 (志 本) 6 6 番

**X 1955**

**收穫祭**



日時：11月12、13日

鹿児島県農業高等学校

| 収 穫 式            |           | 12月・10時 |
|------------------|-----------|---------|
| 12日催し物           |           |         |
| 野 球 大 会          | 運 動 場     |         |
| 相 撲 大 会          | 相 撲 場     |         |
| 弓 術 大 会          | 弓 道 場     |         |
| 卓 球 大 会          | 卓 球 場     |         |
| バドミントン大会         | 本 館 芝 生   |         |
| 映画鑑賞会            | 7,8 番 教 室 |         |
| 「廊」その他数館、1時より開演  |           |         |
| 展 示 会            | 1,5 番 教 室 |         |
| 写真・絵画・標本その他      |           |         |
| 13日催し物           |           |         |
| 演 芸 大 会          | 7,8 番 教 室 |         |
| 演劇、音楽演奏その他       |           |         |
| 展 示 会            | 1,5 番 教 室 |         |
| ★模擬店の設備を並利活用下さい。 |           |         |
| (13日の各商店致してたりまう) |           |         |

**演藝大会プログラム**

**13日 —— 開演 10 時 ——**

・午 前 の 部

開 会 の 音 楽  
校 長 換 幕

ウエスタン ミュージック ..... カントリー  
スウェーデン .....

落 語 ..... 在 校 生

X ゲ ー ム ..... P.T.A.有志

休 息 (11時30分より1時迄)

・午 后 の 部

ハワイアン ミュージック ..... ナレオ  
ハワイアン .....

タ イ プ ..... 教 職 員

コミックブレイ ..... 在 校 生

劇「喧嘩友達」 ..... 在 校 生

春組「若さ血」 ..... 全 員

団 会 の 辞

**—— 終 演 4 時 ——**

★ 開演中の出入はお静かにお願い致します。

[illegible]

正面2階は当時教員室、6～7名の専任教員が詰めていた。このスケッチには未だペンのマークが付いていないが、確か志木高に転換になった年から三角屋根の正面壁面にペンの徽章が付けられ、駅や電車の中からも一目瞭然、慶應と判ったものであった。現在の校舎はずっと奥へ移転してしまったので勿論駅から望むことは出来ない。古いOB諸君は志木駅に着いても学校が何処にあるか訪ねなくてはならぬ状態である。

農業高校の頃の収穫祭はこのプログラムの日付けからも判るように11月12・13日となっている。現在のように文化の日を挟んで行なわれるようになったのは普通高になってからで、あの頃11月上旬まで夏作の収穫や冬作の麦の播き付けに追われていた。

その忙しい収穫期を終え、ホッと一息つく間もなく収穫祭が行なわれた。当時は近くの農家に呼びかけ、大根、ニンジン、サツマイモなど農作物の品評会を行なったりした。またプログラムの内容を見ても判るように、生徒の手による催し物を中心に教職員やPTAの協力もあり、可成り充実した内容のもので、4時には終了している。

またこのプログラム作成には、校内売店のTM洋服店、宮川書店、そして懐かしい山本食堂、校医の村山病院、同じく校医の相田歯科、駅前の今西商店、牛や豚、鶏などの飼料を確保してくれた山口商店、生薬店の老舗原薬局など数は少ないが、あたたかいご協力を頂いている。

1955年という8期生の頃と思われるがこの一葉のプログラムから、当時の様子が次々と思ひ起され非常に懐しくまた貴重な資料となっている。

本校創立40周年を期して同窓会（志木会）が結成され、志木高校も漸く社中一致協力してその発展に力を盡してくれている。間もなく50周年を迎える。農業高校から志木高校へと姿は変わり、そこに学ぶ生徒の気質も時の流れに従って変化しようが、建学の精神は変わらず受け継がれて行く。

その時々の流れを物語ってくれるこのようなプログラム、パンフレット、或いはクラブの活躍を示す写真など、お持ちのOB諸兄は50年史作成の資料としてどんどん提供して頂きたい。改めてご協力をお願いする次第である。

※近い将来にまとめられるべき「志木高50年史」のための資料発掘で意図してシリーズ化を願っています。資料提供、寄稿を会報編集部よりお願いします。

## 雑感

### 平井 一弘

志木高校に在職していたのも古いことになる。25年以上も前のことである。赴任したのが1966年。義塾文学部を卒業してから数年後のことであった。

在職していたのは4年間にすぎなかったが、とにかく、面白かった。昔の校舎で、本当かどうか、馬小屋を改造したという、天井のいやに高い教室で勉強した。何かというと揃って床板を踏み鳴らす学生の足音が校舎中に響いた。先輩、同輩教員にはかなり「変な」人が多くいて、当時の私の屈折した若さをも、もっともなものであると思わせてくれ、私を解放してくれた。

優秀な学生が多かった。私は英語の教師であったが、英語の知識もその他の知力も、私よりはるかに優れている学生が多くいた。あれはなぜだったのだろうか。その後そのような劣等感をほとんど経験したことがない。彼等が優秀だったせいか、私が未熟であったせいか。

在職2年目に、義塾よりハワイ大学に派遣され、スピーチ・コミュニケーションという学問に出合い、1年後に志木に戻った。翌年には労働組合に出され、あろうことか、慶應労組の書記長。ストライキも経験した。70年安保を目前にした当時の思想的対立は、私にも影響を与えた。

1970年3月に志木高校を辞任し、昭和大学に移った。後にハワイ大学に戻りスピーチ・コミュニケーションを勉強し、それを私の専攻とするようになった。さらに後には、大妻女子大学に移り現在に至っているが、その間に義塾法学部の非常勤講師になり、それは現在にまで続いている。多くの志木高校出身者の法学部生に「英語Ⅰ」という名でスピーチをお教えした。

志木高校離任後、結婚をし、子供が生まれ、後に離婚をしたが、その子供が現在義塾環境情報学部の2年生。志木高校に赴任した25才の時より51才の今日に至るまでの4半世紀が、こうしてふりかえってみると、またたく間に過ぎたような気がする。

## 「あるOBのもぎたて心象スケッチ—突撃命令」

——志木演説会の演壇に立って——

今井 宏明

世の中にはとんでもないことがいくつかある。弱冠三十歳のごく普通のサラリーマンが千人近いおりこうな高校生に何かありがたい「おはなし」をしようとするなどその好例である。さらに、この「おはなし」を仰せつかったのが、人生のうちでも最良に分類される夏休み直前の日ともなれば、もうこれは無謀の域に達している。この見解は次の経験に基づいている。すなわち、このサラリーマン自身は、その昔の志木演説会において偉い先生にありがたい「おはなし」を賜ったはずなのだが、彼の脳細胞のメモリーからはこの出来事は完全に揮発してしまっていたし、また、恐れ多いことにこのような「おはなし」は消去されてもしかたなしという考えを持っていたのである。天はこのような不屈きを見逃しはしなかった。彼は自分がまったく無視した「おはなし」に引き出され、突撃を命じられたのである。

苦悩の末、彼がまず最初に思いついた作戦はこうである。難解なるお勉強から抽出したところの専門用語という睡眠薬をしょっぱなから乱射し、おりこうなる高校生を深い眠りにつかせて全てを夢幻と化してしまう。後は無人の広野をゆくがごとくであろう。しかし、このような非人道的戦法には彼も少なからず抵抗を感じた。

そして、彼はふと考えた。なぜ、過去のその「おはなし」が彼のメモリーから揮発してしまったのか？ それは、おそらくその「おはなし」が彼の人生から遊離していたからに違いない。これは、まさしく日本の国際貢献における欠点と一致する大問題である。現地の人々の生活から離れた援助はまったく実効的でなく、金のムダ遣いなのであって、おりこうなる高校生の生活から逸脱した「おはなし」もまた時間の浪費にほかならない。

弱冠三十歳のサラリーマンがおりこうなる高校生の生活に即した「おはなし」ができるとすれば、それは彼の高校時代から現在までの思い出にかわってしまった人生を振り返ることしかなかった。そこで、彼は、おりこうな高校生の人生最良に分類されうる一日に、彼が何を考えて何を行動し現在に至ったのかを、多少の味付けを加えて吐露したのであった。ご存知ない方に説明しよう。それはこんな内容だった。若いときは何でも選べる自由な時代と思ってやってきたが、世の中の肝心なところ、すなわち組織を構成する「人の顔」やお勉強の「ご利益」などは通常、理解不能であり、結局、常識に流されてしまいそうになる。ところが、ユニークな面白い人物との出会いが楽しい人生の入り口だったというものだ。年季の入った偉い先生の「おはなし」に比べればささやかなものであるが、おりこうな高校生諸氏が近々同様な環境に足を突っ込むと言う点において現地生活に密着していたと、彼は信じているようだ。ただし、戦果のほどは定かでない。

ところで、この作戦を通じて彼が感じとったことがある。おりこうな高校生の常識と、これに対抗する大人の野心というものの存在である。おりこうな高校生はすでに自分に関係あるものの興味のあるものを明確に理解する常識を心得ていて、この価値判断をもって時間を有意義に過ごすのである。一方、一部の大人は、この常識を打ち破るべく日夜精進しているふしがある。常識を超えた一種の非常識の中にこそ人生の楽しみが隠されていることを気づいたときには遅かった自分を反省するかのよう。

(29期)

# 同期会だより

## 5期

歳月の経るのは早いもので、昭和63年11月27日にホテルオークラ平安の間で会ったのが、つい昨日のような気がする。

又お会いしてワイワイガヤガヤしたいものである。残念なことであるが、この間に又大事な友を亡くした。

平成元年7月3日 小泉磐於君 逝去

平成4年7月17日 石坂恵一君 逝去

ここに故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

「100club」は5期の卒業生が中心に行っているゴルフ会です。発足以来15年の歴史を有し、65回開催してきました。年初のタウンミーティングで、全員が100回を目指して、ガンパローと云う事になりました。ルール・マナーを尊ぶジェントルマンの新参加はいつでも歓迎しておりますので、会長の伊藤憲之助君まで申出て下さい。

なお連絡先

(株)スポーツパル・インターナショナル

電話03-5570-6511

幹事 宮田 勝

寺嶋 延行

## 11期

### 遊志会

遊志会の本年のスケジュール5回のうち3回の活動状況をご紹介します。

●H4年4月10日(金) 第14回セミナー 於：銀座SPACE88

「カルシウムで成人病の予防」講師：黒田重臣君(国立大蔵病院) 出席者 14名

50才になると体もガタがくるころ。出席者全員真剣に聞き入り大変参考になりました。

●H4年7月11日(土) 第44回ゴルフ大会 於：都留C.C.

優勝 細谷 勝庸 2位 木村 昌彦 3位 馬淵 祥宏 参加者 16名

天気も涼しく、高山先生にも参加して頂き楽しい一日でした。(幹事：松川勉談)

●H4年7月25日(土) 懇親午餐会 於：仿膳飯莊(青山) 参加者 31名

参加者31名中、高山先生ご夫妻をはじめ13組が夫人同伴でなごやかに話もはずみ、おいしい料理に舌づつみをうちました。(幹事：坂本照夫談)

なお、引続き今年のスケジュールは

●H4年11月1日(土) 第45回ゴルフ大会 於：霞ヶ浦国際G.C.

●H4年11月29日(日) 志木会総会 於：京王プラザホテル

2次会遊志会懇親会 於：都議会議事堂内議会議室レストラン

また、来年の新年会は

●H5年2月18日(休) 新年会 於：三越本店「7階特別食堂」

で行うことが決定しておりますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

●訃報 会員の岩間一郎君がH4年2月24日肺がんのため永眠されました、心からご冥福をお祈りいたします。(馬淵記)

## 14期

静かなたたずまいの蓼科に、低料金の旅館「千松苑」をオープン致しました。東京から2時間30分で東京からのマイクロバスによる送迎付で35人までなんと一泊一名様23,000円、観光、カラオケ歌い放題、楽々セット価格が自慢です。紅葉の季節良し、スキーも良し、仲間が10人以上集ったら、ぜひ御連絡下さい。幹事さん大助かりの宿です。(築山正俊記)

### カメラクラブより

志木高のカメラクラブOB会を開きますので、OBの方はご連絡下さい。

日 時：平成5年2月の土曜日の夕方

場 所：未定

連絡先：今村巍(14期)

与野ハウスクリニック

与野市上落合324-4与野ハウス

(048) 854-5744

休日及び夜間は自宅へ

(048) 858-0254

## お願い

## 会員の皆様へ

第2回総会には、みなさん奮って参加しましょう!!  
なお、出欠のご返事がまだの方は早急にお願いいたします。会費の事前振込と名簿代金も併せてよろしくお願い致します。

## 各期の幹事について

今回の総会に関する件を含めて慶應志木会会員の皆様へは下記の幹事の方々を通じて種々お願いしております。

会員の皆様におかれましては同期の幹事の方へのご協力をよろしくお願いいたします。

| 期   | 正     | 副     | 副    | 副                            |
|-----|-------|-------|------|------------------------------|
| 1期  | 菊池誠之助 | 藤井 淳  |      |                              |
| 2期  | 鴻田一章  | 佐藤弘司  | 浅川 浩 | 遠山正秀                         |
| 3期  | 岩崎勝利  | 菅野光男  | 岩瀬 充 | 品川 仁                         |
| 4期  | 高橋公郎  | 立岡 進  | 杉 猛  |                              |
| 5期  | 宮田 勝  | 寺嶋延行  |      |                              |
| 6期  | 乙部 勝  | 内藤久和雄 |      |                              |
| 7期  | 鈴木正治  | 平沢寿郎  |      |                              |
| 8期  | 青木宏至  | 杉本亘孝  | 大須賀均 | 磯部和宏<br>須山了一<br>志知英男<br>今村信男 |
| 9期  | 南部達雄  | 久保田晃功 | 加島延夫 |                              |
| 10期 | 荒木幸生  | 馬場紘二  |      |                              |
| 11期 | 馬淵祥宏  | 鴻田益孝  | 桜井馨  |                              |
| 12期 | 岡本 哲  | 朝倉和行  | 黒崎明雄 |                              |
| 13期 | 清水武寿  | 千葉宗雄  |      |                              |
| 14期 | 百瀬大策  | 築山正俊  |      |                              |
| 15期 | 倉田伸二  | 吉原良一  | 大関和樹 |                              |
| 16期 | 川端清治  | 松島茂樹  |      |                              |
| 17期 | 北村基樹  | 莊 敬典  | 宗田文明 |                              |
| 18期 | 奥村一人  | 福島由明  |      |                              |
| 19期 | 藤本賢夫  | 草ヶ谷吉紀 | 二島洋司 |                              |
| 20期 | 木原弘人  | 福本博行  | 深尾邦彦 | 菅田 裕                         |
| 21期 | 飯田光茂  | 福地敏之  |      |                              |
| 22期 | 金子康男  | 桜井造雄  |      |                              |
| 23期 | 外山公夫  | 佐藤信也  |      |                              |
| 24期 | 赤木 均  | 島影幸有  | 田沼 潔 | 中田一郎                         |
| 25期 | 高橋宣行  | 小川 洋  |      |                              |
| 26期 | 山崎嘉正  | 金子 泉  |      |                              |

| 期   | 正    | 副    | 副     | 副 |
|-----|------|------|-------|---|
| 27期 | 吉野幸宏 | 大山俊雄 |       |   |
| 28期 | 大館 信 | 望月 一 |       |   |
| 29期 | 木村尚行 |      |       |   |
| 30期 | 岸田一男 | 木島一郎 |       |   |
| 31期 | 曄道佳明 | 内匠屋健 | 松野 徹  |   |
| 32期 | 横江資友 | 町野素久 |       |   |
| 33期 | 新田 浩 |      |       |   |
| 34期 | 山下 孝 | 宇賀神隆 | 奥山研一郎 |   |
| 35期 | 松島 修 | 山口一午 |       |   |
| 36期 | 秋山亮二 |      |       |   |
| 37期 | 原田純一 | 渡辺俊一 | 鍋島康友  |   |
| 38期 | 大坪伸至 | 知久康成 | 平尾圭市  |   |
| 39期 | 丸山和紀 | 田中浩樹 | 岡本健司  |   |
| 40期 | 税所篤史 | 井上晴生 |       |   |
| 41期 | 鈴木 和 | 柏木 徹 |       |   |
| 42期 | 小島 圭 |      |       |   |

※連絡先 伊藤清一(12期) TEL03-3432-1393  
FAX03-3432-1394  
増山治一郎(17期) TEL03-3502-9222  
FAX03-3502-9373

## 編集後記

読書の秋である。福澤諭吉伝の決定版ともいうべき富田正文さんのライフワーク『考証 福澤諭吉』上下が岩波書店から刊行された。精読・通読できなくても、積ん読でもよい、折にふれ、事に当って、親切な索引から、福澤先生にご相談申し上げる習慣にしたらと思う。松崎欣一主事のご研究が参考文献にあるのも嬉しい。上下巻12,000円の買物だが、この本を座右に置くだけで、豊かで上等な気持ちになることを請け合う。塾に学んだ有難さだ。11月29日(日)新宿京王プラザホテルでお会いしましょう。(馬)

## 慶應志木会会報 1992(秋・冬) ● vol.8

平成4年10月31日発行  
編集・発行 慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)  
〒353 志木市本町4-14-1  
発行人 櫻井英太郎  
印刷 株精興社